

Wismettac Letter

ウィズメタックレター

Business Report

ビジネスレポート 2021.1.1-2021.6.30



世界の食産業にかかわる課題を解決し、新たな価値を
創造・提供するグローバルソリューションカンパニー



もっと知りたい！

西本Wismettacホールディングス

今回は**オーストラリア**の日本食販売事業についてご紹介します

NTC Wismettac Australia Pty Ltd.について

NTC Wismettac Australia Pty Ltd.は2012年に設立。オーストラリア国内の四大都市で営業しています。日系・アジア系の外食産業やスーパーマーケットへ、米、水産品、生姜などの寿司関連食材を中心に販売を行っています。

また、アメリカをはじめ世界各地のグループ会社と連携し、顧客ニーズを取り入れた商品を企画するとともに、仕入から販売までの工程を一貫して自社で行うビジネスモデルを展開しています。最近ではオンライン受注に力を入れ、より大きな市場の開拓を目指しています。



オーストラリアのマーケットにみられる特徴

当地では、新型コロナウイルス感染症が拡大する以前から、レストランのお客様の6割以上の方が“Takeaway”持ち帰りでのご利用をされていました。そのため店内飲食の禁止等の措置により世界各地のレストランが大きな打撃を受けていた時期も、Takeawayが盛んな当地では売上を大幅に落とすことはなく、現在も順調に業績をあげています。

当社グループは、このTakeaway業態に着目し、エビフライや天ぷらエビなど、付加価値の高い冷凍水産品や水産加工品の販売に力を入れています。Takeawayが主体の寿司店には“Hot Food”すなわち春巻、カニ爪フライ、タコ焼き、餃子など揚げ物を中心とした総菜も並んでおり、寿司と一緒にHot Foodも楽しむのがオーストラリアの特徴的なスタイルと言えます。

今後の成長に向けて



オーストラリアの現地系食品メーカーやケータリング業者の中には、日本の食材を積極的に活用しているところも多くみられます。その他、ソース工場やパン工場などにも新しいビジネスチャンスを見出しています。

今後も日本食のサプライヤーとして信頼とプレゼンスを高め、アジア系にとどまらず、より多くのオーストラリアの人々の食生活を豊かにできるよう、営業活動を拡げてまいります。

トップメッセージ



「医／ヘルスケア」、「Eco」、
「新しいライフスタイル」、「Food Informatics」という、
新たな領域と融合する分野において、
新たな事業を継続的に創出し、
グローバル展開を目指します。

代表取締役会長CEO 洲崎 良朗

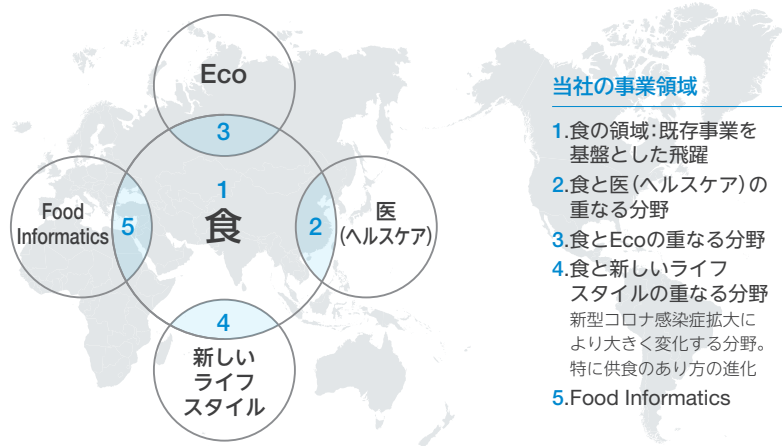
株主・投資家の皆様におかれましては、日頃から格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨今の食に対するニーズは益々多様化・個人化されており、また保守的であった食の分野においても、DX化が急速に浸透しはじめております。コロナ禍の影響も受け、今後さらに多様化していく様々なニーズ／ 이슈に対応すべく、昨年度の期末ビジネスレポートでもお示しさせて頂いた通り、当第2四半期においても、当社グループは新事業構想へ積極的にアプローチしてまいりました。

従来からの食の領域と、今後を睨んだ「医／ヘルスケア」「Eco」、コロナ禍を機に変化が加速している「新しいライフスタイル」、そして「Food Informatics」という、新たな食の産業領域において、様々なスタートアップのビジネスモデル構築を目指してまいります。そして、それらを当社の強みであるグローバルネットワークを通じ、他社との提携やジョイントベンチャー形式を活用しながら、世界的に展開してまいります。

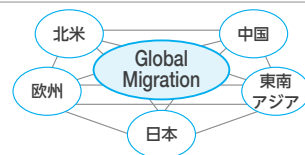
未だ新型コロナウイルス感染症拡大の影響は残りつつも、新たな領域における事業の創生に向けて、人材投資をはじめとして積極的な投資を継続しております。

既存事業におきましても、アジア食グローバル事業、農水産商社事業は、今後も排他的競争優位性を保ちながら、十分な成長性をも見込める分野であると認識しております。世界規模での中食化、内食化の進展による新しい市場での成長、サプライチェーンの効率化改善やITインフ



Global Migration

グローバルでもっとも進んだスタートアップのビジネスモデルを、海外5地域（北米、欧州、中国、日本、東南アジア）において、他社との提携・ジョイントベンチャー形式により協働展開



ラへの投資、PB(プライベートブランド)商品の開発推進などによる収益力の一層の向上に注力してまいります。

ESGに対する貢献、グローバルな食の安全性の担保等、当社に対して求められる社会的な役割・責任は、益々高まっております。この分野においても新規事業投資を通じて、事業の成長と社会的貢献のシナジーを発揮してまいります。

100年以上の歴史を持つ、食のグローバルなフロントライン企業として、引き続きイノベティブに世界の食の食産業をリードしてまいります。

2021年第2四半期までの事業の概況

2021年第2四半期の業績としましては、売上高は999億円（前年同期比+201億円）、営業利益は32億円（前年同期比+45億円）、経常利益は33億円（前年同期比+48億円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億円（前年同期比+35億円）と、今年2月に公表の業績予想から、大幅な増収増益となりました。

また、前年同期は新型コロナウイルス感染症拡大による影響を考慮し、貸倒引当金の繰入およびたな卸資産の評価損を計17億円計上しましたが、当期は逆に、貸倒引当金およびたな卸資産の評価損を約4億円

戻入したことも、前年同期からの利益押上げ要因となりました。

セグメント別で見ますと、日本食を中心とするアジア食グローバル事業については、北米および欧州を中心に、ワクチン接種の進展と感染防止の各種規制等が緩和され、外食等の消費需要が当初の予想を上回る早さで回復しており、グロサリー向け販売も引き続き好調に推移しております。利益面におきましても、コロナ禍において需要が高まったグロサリーや、テイクアウト向け商品力の強化、海上運賃の高騰・商品原価上昇に備えての価格調整、効率性を高めた販売管理費の抑制

等の施策が奏功し、大幅な増益となりました。

農水産商社事業については、国内の外食産業に対する営業規制の継続による需要の低迷、また、主力の輸入柑橘類の需給バランスの変動が激しい中、在庫水準の適正化に努め、前年同期比より増収となりました。また、台湾産パインの特需も、売上に貢献しました。利益面は、在庫過多と価格低迷により収益確保が困難であった前年同期と比較すると、順調な相場を維持することができ、増益となりました。

下期の進捗と通期業績予想の見直し

2021年12月期通期の連結業績予想については、公表時の今年2月の段階では、主力の北米・欧州地域を中心に、新型コロナウイルス感染症再拡大の見通しが示されていたこと、当社の当期業績に対する影響度も極めて不透明だったことから、相応に保守的な数値での公表となりました。

しかしながら、実際には今年1月以降、想定ほどの業績低下はみられず、さらに第2四半期に入り、欧米地域を中心にワクチン接種の進展に伴う規制緩和により、想定以上のスピードで消費需要の回復が進み、当初計画以上の売上伸長に繋がりました。

また、需給バランスの急激な変化等に起因する海上運賃の上昇や、北米労働市場の逼迫による倉庫・ドライバー人件費の上昇等に備えて、早期に商品価格の値上げを実施したこと、また、販売管理費の抑制等が収益の改善に寄っております。

一方で、下期においては、物流の混乱がもたらす海上運賃の高騰のほか、人件費等の物流関連コストの上昇、そして、世界的なコンテナ不足に伴う出荷遅延等による欠品が収益機会の喪失に繋がる可能性等、収益を圧迫する懸念材料が想定されます。

また、変異株の出現により感染が再拡大し、営業規制等が実施される事態になれば、再び消費マインドが低下する可能性もありますが、現時点での足元の業績は、好調を維持しております。

これらの要因を考慮した結果、2021年12月期通期の連結業績予想を、売上高2,000億円、営業利益55億円、経常利益51億円、親会社株主に帰属する当期純利益38億円に修正いたしました。既存事業については、北米等において好調な業況を維持しているアジア食グローバル事業が牽引し、前年に公表した中期計画を大幅に上回る売上・利益を見込んでおります。物流コストの上昇等、リスク要因は想定されるものの、引き続き効率性および収益力の向上に注力してまいります。

2021年12月期第2四半期 経営成績

売上高	999億円
営業利益	32億円
経常利益	33億円
親会社株主に帰属する四半期純利益	25億円

新規事業については、コロナ禍の長期化により販路開拓等に一部遅れはあるものの、引き続き人材確保をはじめとした投資を継続し、一部事業の本格稼働に向けた動きを、ほぼ予定通りに進めております。

下期の数値としては、売上高1,000億円、営業利益22億円、経常利益17億円、四半期純利益12億円の黒字となります。引き続き期末に向けて、一層の収益向上を目指してまいります。

(単位：億円)

		FY2021 (2021/2公表)	FY2021 修正後	コメント
全社	売上 営利	1,870 20	2,000 55	引き続き、既存事業におけるIT基盤強化・DXのための投資および新規事業への投資を加速
既存	売上 営利	1,805 47 (52)	1,937 82 (87)	既存事業では、前回中計の同年度計画を上回る利益を見込む
GAF	売上 営利	1,280 40 (45)	1,429 75 (82)	米国を中心に需要回復、価格調整等による収益改善。原価・物流費用上昇の影響等を注視
農水産	売上 営利	504 7	470 6	外食産業に対する規制強化等の影響が残るも、国内外営業の強化に向け体制を整備
国内 BtoC	売上 営利	38 0	38 1	国内事業環境は未だ回復途上ではあるが、当初規定から大きな異動はなし
新規	売上 営利	65 △ 27	63 △ 27	コロナ禍の長期化により、販路開拓等に一部遅れはあるものの、新規事業は本格稼働に向けて進捗

計画前提 修正後予想における円ドル為替は、1\$=108円を想定

株主の皆様へ

株主の皆様に対する利益還元については、将来の事業展開と財務体質強化の為の内部留保を確保しつつ、安定的な配当を継続して実施することを基本方針としております。

今年2月時点の公表では、新型コロナウイルス感染症の収束が見えず、当社業績に対する影響度も不透明であったことから、中間配当は未定、中間・期末をあわせた通期合計では2020年度12月期と同様、1株あたり20円の配当を予定しておりました。

しかしながら、現時点での当社グループを取り巻く事業環境および、今後の業績見通し等を総合的に勘案した結果、中間配当は1株当たり35円とさせて頂くとともに、期末配当予想は1株あたり45円、年間配当予想としては、1株当たり80円に修正させて頂くことにいたしました。

これによって、当社として従来から重要な指標としておりました、通

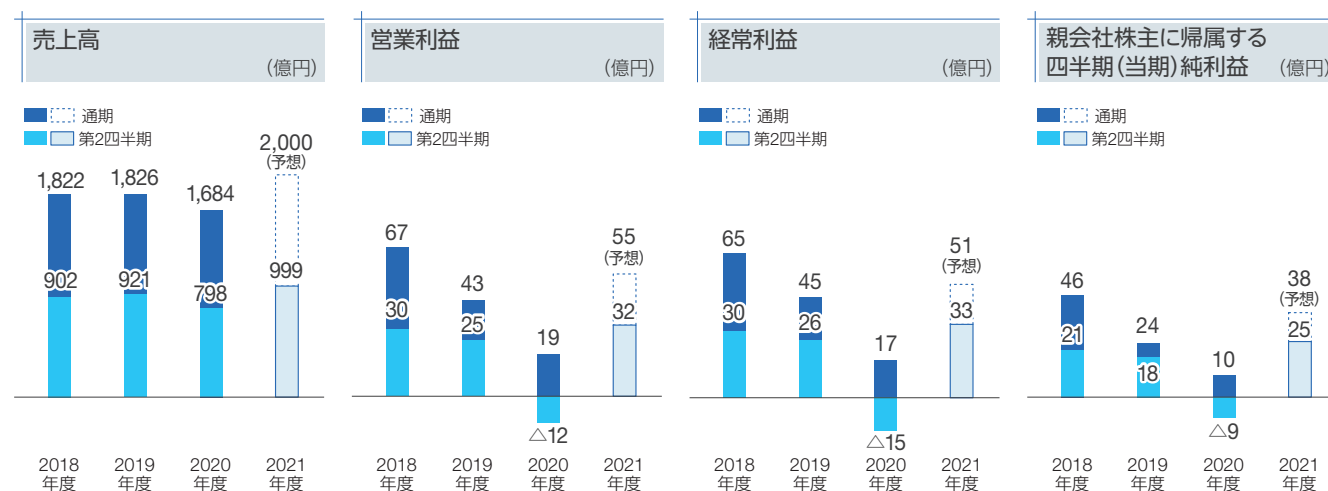
期での配当性向30%を維持する予定としております。株主・投資家の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

1株当たり配当額



連結財務ハイライト

		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度	
		第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	通期(予想)
売上高	(億円)	902	1,822	921	1,826	798	1,684	999	2,000
営業利益	(億円)	30	67	25	43	△12	19	32	55
経常利益	(億円)	30	65	26	45	△15	17	33	51
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(億円)	21	46	18	24	△9	10	25	38
純資産	(億円)	496	515	515	523	496	508	561	-
総資産	(億円)	830	837	835	965	949	1,136	1,244	-
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	151.75	322.18	130.86	173.71	△65.43	70.80	180.26	264.75
自己資本比率	(%)	59.8	61.5	61.7	54.2	52.3	44.4	44.7	-



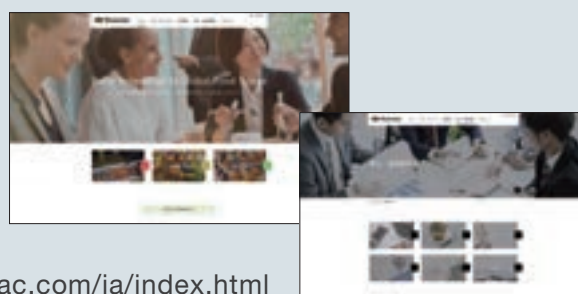
2021年12月期第2四半期 セグメント別の概況

売上高構成比 (%)



ホームページのご案内

当社のホームページでは、事業内容やニュース&トピックス、西本 Wismettacグループの概要についてご紹介しています。また、株主・投資家情報のページでは最新の財務・業績の情報のほか、IRに関するニュース、IRライブラリーなど様々な情報をご提供しています。是非一度ご覧ください。



西本ウィズメタック

検索

<https://www.wismettac.com/ja/index.html>



世界の西本Wismettac

西本Wismettacグループは世界中で事業を展開しております。



Wismettac Australia



海外からの
“声”



Assistant Sales Manager
Sydney Office
近藤 武之
(コンドウ タケユキ)



Sydney OfficeのSalesとしての業務内容、やりがいについて教えてください。

入社してから現在に至るまで、新規店舗、新業態、また新規エリアの開拓に取り組みながら、お客様との信頼関係の構築を心掛け、日々業務に取り組んでいます。

セールス業務では、常日頃変わる状況に臨機応変に対応し、その時々にも最も適した判断が求められます。新規のお客様と契約を取り交わせた際には、喜びはもちろんのこと、新しいお客様を受け持つという責任も生まれます。既存のお客様との強い信頼関係が新たなビジネスに繋がることも多々あり、非常にやりがいを感じています。



どのような観点で新業態、新規エリアの発掘、開拓に取り組んでいますか？

常に周りに興味を持ち、観察するという地道な行動が実を結ぶことが多いかもしれません。例えば外出時には、人の流れや各店舗の集客度合い、そのエリアでどのような業態のレストランが増加しているのか等をチェックしています。また、大型トラックや配送車などに記載されている会社名を覚えておき、後からリサーチして今後の取引に繋がるか模索することもあります。



この仕事で一番、記憶に残っていることはなんですか？

新型コロナウイルス感染症拡大により、マーケットが混乱している中でも、多くのお客様から「近藤さんから購入したい」とおっしゃっていただけたことです。営業においては、極端な値下げや安売りによる売上向上ではなく、商品の付加価値を高めることによってお客様に選んでいただけるよう心がけています。そのような私にとって、商品価格が他社と比較して高くても、引き続き購入したいとおっしゃっていただけることは大変ありがたく、今まで構築した信頼関係があったからこそこの言葉だと感じました。コロナ禍の中で、売上が落ち込むピンチの局面を、チャンスに変える仕事ができただけではないか、と確信しています。今後もこの言葉を忘れず、仕事に取り組んでいきたいと思っています。

NEWS
and
TOPICS

〈 現地の売れ筋商品、現地化している日本食などがあれば教えてください。〉

Takeawayの業態の中でも、最も一般的なメニューが寿司ハンドロールです。日本の太巻きのような寿司ロールに魚型醤油をたらして、スナック感覚で食べるのがオーギー流となっています。街中ではたばこの吸い殻よりも、魚型醤油の空容器が道端で落ちていることが多いと言われています。



株主優待のご紹介

株主の皆様の日頃のご支援に感謝し、年1回株主優待を実施しております。



株主優待制度の概要

① 対象となる株主様

毎年12月末日現在の当社株主名簿に記載または記録された、当社株式1単元(100株)以上を保有されている株主様

WebサイトURL

<https://www.hello-worldgift.com/>

スマートフォン・携帯電話はこちらからアクセス



★ 初めてご利用の方は会員登録が必要です

② 優待の内容(2020年度)

当社グループが運営する商品購入サイト「NISHIMOTO WORLD GIFT」でご利用いただけるクーポンコード(1クーポンコード=3,000円相当)を記載した優待券を、定時株主総会決議のご通知に同封し、贈呈いたします。

保有単元数(保有株式数)	クーポンコード個数
1～3単元(100株以上400株未満)	1個(3,000円相当)
4～6単元(400株以上700株未満)	2個(6,000円相当)
7単元以上(700株以上)	3個(9,000円相当)

※1回の商品ご購入で、1クーポンコードのみご利用いただけます。



2020年12月末日時点の株主様にご送付しているクーポンコードのご利用期間 **2021年4月～2021年12月末日**

お問合せ先

Wismettacフーズ株式会社ワールドギフトカスタマーサービス

0120-096-810

9:00～17:00
(土日祝、年末年始休業日を除く)

会社概要

社名	西本Wismettacホールディングス株式会社 (英名) Nishimoto Co., Ltd.
創業	1912年5月
本社所在地	東京都中央区日本橋室町三丁目2番1号 日本橋室町三井タワー15階
資本金	2,646,177,532円

役員

代表取締役会長兼 社長 CEO	洲崎 良朗	取締役 (常勤監査等委員)	木村 敦彦
取締役	辻 川 弘	社外取締役 (監査等委員)	能見 公一
取締役	佐々 祐史	社外取締役 (監査等委員)	大村 由紀子
取締役 グローバルCDO	行徳 セルソ		

国内・海外拠点

〈日本〉

西本Wismettacホールディングス株式会社
 ・東京本社、神戸本店 (※登記本店)

Wismettacフーズ株式会社

・東京本社、神戸本店 (※登記本店)、神戸支店、沖縄駐在員事務所

〈北米〉

Wismettac Asian Foods, Inc.

・Los Angeles Office (Corporate Headquarters)、Arizona Office、Atlanta Office、Chicago Office、Dallas Office、Denver Office、Miami Office、Hawaii Office、Houston Office、Las Vegas Office、New York Office、San Diego Office、San Francisco Office、Seattle Office、Washington, DC office、Toronto Office、Vancouver Office、Montreal Office、Orlando Office、Boston Office (Satellite Office)、Sacramento Office (Satellite Office)、Calgary Office (Satellite Office)、Ohio Office (Satellite Office)、Raleigh Office (Satellite Office)

〈アジア〉

Wismettacフーズ株式会社

・バンコク駐在員事務所、ホーチミン駐在員事務所、ソウル駐在員事務所

慧知旺食品商貿 (上海) 有限公司

愛品盟果業貿易 (上海) 有限公司

NTC Wismettac Singapore Pte.Ltd.

慧思味達日本食品有限公司

〈オセアニア〉

NTC Wismettac Australia Pty Ltd.

・Sydney Office、Melbourne Office、Perth Office、Brisbane Office

〈ヨーロッパ〉

NTC Wismettac Europe B.V.

Wismettac Harro Foods Limited

SSP Konsumgüter TRADE & CONSULT GmbH

COMPTOIRS DES 3 CAPS SAS

・Comptoirs Oceaniques

・Tropic Fish

Sco-Fro Group Limited

株式の状況

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式総数	14,353,140株
株主数	2,300名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
多津巳産業株式会社	6,235	43.4
洲崎良朗	2,910	20.3
公益財団法人洲崎福祉財団	1,300	9.1
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	553	3.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	409	2.9
GOVERNMENT OF NORWAY	387	2.7
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	289	2.0
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	279	1.9
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	217	1.5
金井孝行	138	1.0

(注1) 上記の持株数は千株未満を切り捨てて記載しております。
 (注2) 持株比率は、自己株式153株を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎事業年度末日の翌日から3か月以内
基準日	12月31日
剰余金の配当の 基準日	中間配当 毎年 6月30日 期末配当 毎年12月31日
1単元の株式数	100株
取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
公告掲載方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法によって行います。 公告掲載URL https://www.wismettac.com/ja/ir/e-announce.html

世界の食の架け橋として貢献

Wismettac (ウィズメタック) とは



「地球それ自体」と「Globalism」をイメージした2つの球体

・革新の「赤」+自然の「緑」
 ・「より健康で豊かな食生活へのあくなき挑戦の意思」

社名の「W」「M」「C」をモチーフとして造形化

【Wisdom】…西洋智

【Metta】…東洋智

(パース語: 優しさ/思いやり)

【Creativity】

…価値の創造力

西本Wismettacホールディングス株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目2番1号 日本橋室町三井タワー15階

Tel: 03-6870-2015 Fax: 03-6870-2016

